

1 研究テーマ

『運動の楽しさや喜びを味わうことができる保健体育学習の在り方』
～豊かな関わりの中で、みんなが達成感を味わう学習を目指して～

「運動に対する意識」を高めていくために学習構想案の導入を図りながら、「単元のゴールの姿・期待される姿」、「単元を通じた学習課題（単元の中心的な学習課題）」、「本単元で働かせる見方・考え方」を具体的にイメージし、その実現に向けて単元のまとまりで授業を構想した研究を進めてきた。

具体的には、3つの部会（学習構想部会・フォーアップ運動部会・学習シート部会）を編成し、それぞれの部会でテーマに沿った研究を進めていきながら、達成感を味わうことのできる授業実践を目指してきた。豊かな関わりの中で学びに必要な指導の在り方を工夫したり、必要な学習環境を整備したりしていくことで、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたるスポーツライフを実現していく資質・能力の育成へと繋げていきたいと考えている。

2 研究組織

会長	副会長	理事長	副理事長
若杉幸生 校長（鹿本）	西浦伸一 教頭（鹿北）	田島信哉（鹿本）	湯澤徹志（菊鹿）
学習構想部会	☆田島（鹿本），湯澤（菊鹿），丸山（米野岳）		
フォーアップ運動部会	☆川本（鹿北），若杉（山鹿），前田（山鹿）		
学習シート部会	☆中山（山鹿），磯部（山鹿），上野（鹿本）		

3 活動状況

月	日	研究部会	活動の概要
5	6	総会・研究部会	○役員選出・承認 ○市研究テーマ・重点研究内容決定 ○年間活動計画の確認
7	27	夏季研修会 中止(コロナ感染症)	○ビフォーアフタービデオ ○体育実技指導者講習会復興 ○班別協議（各部会の研究について）
10	7	半日研	○研究授業 山鹿市立菊鹿中学校 第2学年 湯澤徹志 教諭 体育分野 「E 球技 バasketボール」 ○授業研究会・協議
1	20	半日研	○「今年度の反省と次年度への志向」 ○各部会・学習構想部会，フォーアップ運動部会，学習シート部会 ・各学校の実践紹介，情報共有

4 研究の概要・成果と課題

(1) 重点研究内容

ア 学習構想部会

教師側が単元全体・授業を通して「何を身に付けさせたいのか」を明確にするとともに、子どもたちと「育てたい力」のイメージを共有し、「何ができるようになるか」を実感できる（達成感を味わうことができる）授業を目指し、本年度は菊鹿中学校での提案研究授業「E 球技 ゴール型 Basketball」の学習構想案を作成した。

【成果と課題】

成果としては、学習構想部会に属する数名の教師で集まり、学習指導要領や解説等を読み込み、これまでの学習指導案に加え、「単元終了時の生徒の姿（単元のゴールの姿・期待される姿）」、「単元を通じた学習課題（単元の中心的な学習課題）」、「本単元で働かせる見方・考え方」を具体的にイメージし、その実現に向けて単元のまとまりで授業を構想するので、授業者のみならず、学習構想部会及び山鹿市保健体育教師の資質向上に繋がった。

課題としては、これまでの研究授業で実施した単元の構想案の蓄積を基に、各学校で生徒の実態に応じてより良い実践へとつなげてほしい。また、新たな単元でも学習構想案を作成して実践してもらうことを期待している。

イ フォーアップ運動部会

フォーアップ運動（ウォームアップ・スキルアップ・モチベーションアップ・コミュニケーションアップ）を考案していきながら、授業の導入で行っていく。身に付けさせたい力を育てるための手段とする。本年度は、菊鹿中学校での提案研究授業「E球技 ゴール型 バasketボール」の実践を用いて意見交換、検討を行った。

【成果と課題】

成果としては、生徒にとってはその単元の導入時に帯で実施するので見通しが持てると同時にウォームアップ・スキルアップ・モチベーションアップ・コミュニケーションアップへとつながっている。本年度は、提案研究授業の「バスケットボール」の提案時のフォーアップ運動を基に実践することができた。

多種の単元のフォーアップ運動の資料を蓄積して3年を終えた。今後、さらに多種多様のフォーアップ運動（例）の蓄積に努め、実践をさらに深めていくことが今後の課題として挙げられる。

ウ 学習シート部会

「授業のねらい」に近づくための手段として「育てたい力」を意識した学習シートの作成を行ってきた。「この時間に生徒たちに何が残るか…」「必要性を持って取り組んでいるか…」等を考えながら作成している。「単元のゴールの姿」「単元を通じた学習課題」「学習活動」「学習過程の構想」を学習シートに取り入れることにより、教師と生徒が同じ目標を共有できるようにする。本年度は、菊鹿中学校での提案研究授業「E球技 ゴール型バスケットボール」の学習シートを用いて意見交換、検討を行った。

【成果と課題】

成果としては、「単元のゴールの姿」「単元を通じた学習課題」「学習活動」「学習過程の構想」を1枚の学習シートに取り入れることにより、教師と生徒が意識（育てたい力）を共有できるようになり、毎時間の充実した授業に繋がっている。

課題としては、終末の振り返りの時間を十分確保し、生徒たちの学びの状況を学習シートから掴み、それに対してしっかりとコメントを返し、さらに生徒たちと繋がっていくことが挙げられる。

3 まとめ

山鹿市中体研では、ここ3年、市内5中学校の保健体育教師を上記の3つの部会に分けて研究を進めてきた。大まかな年間の流れとしては、5月に年間計画の確認、研究の方向性や役員等を決め、夏季休業中の7月には、今年はコロナ感染症の影響で中止にしたが、計画では、ビフォーアフタービデオの使い方の研修、3つの部会の実践資料を各々が持ち寄っての討議、体育実技指導者講習会の復講を予定していた。また、10月には、毎年行っている山鹿市5校輪番制に基づく研究授業を行った。本年度は、菊鹿中学校で「球技 ゴール型 バasketボール」の授業を2年生で行った。山鹿市は、保健体育教師9名それぞれが自覚を持ち、これまで研究してきた財産を基に生徒と向き合いながら実践に努めている。山鹿市の生徒たちのために、達成感を味わうことができる授業をこれからも行っていきたい。